

スターチス・シヌアータの品種開発

作物生産研究部 園芸作物開発課

TEL: 0123-88-1990

E-mail: engeisakumotu@hokuren.jp

スターチス・シヌアータは北海道における花き生産の重要品目です。特に仏花としての需要が高く、紫色を中心に生産されています。これまで、当課ではブラシ形状に優れ規格内品率が高い青紫色の「蒼雲」や、採花本数が多くブラシ形状にも優れ、水稻育苗後のハウスを活用した抑制作型での作付けにも活用できる紫色の「紫龍」に加え、濃青紫色の「藍海」やライトブルーの「空波」など4品種を開発してきました。各品種の栽培特性を生かし、産地のニーズにあわせた提案を行って普及拡大を図っています。今回は、当課で開発した代表的な品種の「蒼雲」および「紫龍」をご紹介します。

【蒼雲】

～鮮やかな青紫色で2番花も草姿良好～

1. 品種特性

- ・がく色は鮮青紫色の中晩生品種
- ・ブラシは大きく切り花の品質に優れる
- ・切花長は長く翼が小さいため草姿に優れる
- ・2番花も切花長が長く、規格内率が高い
- ・灰色かび病への耐病性に優れる
- ・茎が硬く立性

2. 特記事項

- ・抽苔は、生育期間において次々と発生する特性があります。



蒼雲

【紫龍】

～鮮やかな紫色で採花本数が多い～

1. 品種特性

- ・がく色は鮮紫色の中生品種
- ・ブラシの形状に優れる
- ・採花本数が多い
- ・切花長は長く翼が小さいため草姿に優れる
- ・2番花も規格内率に比較的優れる
- ・抽苔が揃い、一斉収穫が可能

2. 特記事項

- ・6月定植の抑制作型にもおすすめです。



紫龍